



福娘から福を授かる参拝者

## 毎年恒例 2月11日 上市 初えびす

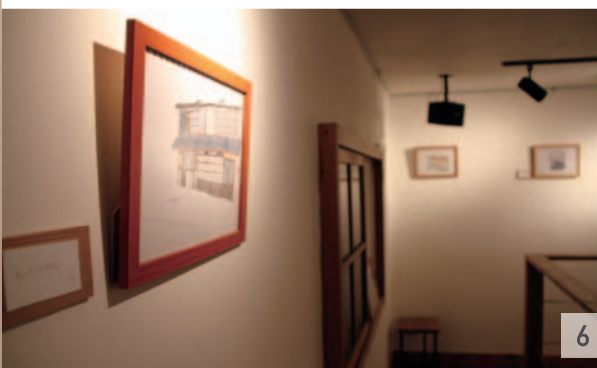
同時開催イベント盛りだくさん

蛭子神社では福笹などの販売や甘酒のふるまいなどが行われました。今年には「奈良・町屋の芸術祭はならあと」や上市笑転会(上市地区自治協議会)主催の大衆演劇なども開催されました。また、まちづくり団体、吉野家守俱樂部主催の「上市初市繁盛にぎわいフェス」が上市の丸ビルで行われ、フードコートやライブステージなどに多くの人が集まりました。その他にも様々なイベントが上市一帯で行われ、上市がまるごと賑わいました。

園役場 総務課 広報聴室

TEL (32) 9090

①即興で作った人形で行う人形劇(人形劇団クラルテ)。②吉野町社会福祉協議会によるふれあいステーション。上市スタンドで様々な体験コーナーが催されました。③木片で「はならあと」の文字をつくっていく様子を写真に撮り、アニメーションにします。④吉野産の野菜を使ったアヒージョ(丸ビル)。⑤出店者とお客様との会話も弾みます(丸ビル)。⑥上市の風景を描いた青豆デザイン原画展(三奇楼)。⑦ちんどん巡行の様子。⑧吊り下げ式の植木ポットを作るワークショップ。





YOSHINO WOOD FESTIVAL

木のまち「よしの」体験

# ウッド よしの 木フェス

3月2日 Re:吉野と暮らす会 主催

今年は吉野貯木場開設80周年と吉野製材工業協同組合設立70周年にあたります。これを記念して、木材関係者の有志を中心として平成25年から吉野町で地域おこしを行っている団体「Re:吉野と暮らす会」が木のまち「よしの」を体験できるイベント「よしの木フェス」を開催しました。

▶吉野マルシェではおなかも満たされました。(吉野材センター)



山に人が入って育てた木を製材し、販売するためにできた吉野貯木場。この一帯で行われた今回のイベント



1年生から6年生までの作品が並ぶ展示会場

地域おこし協力隊が講師となり、町内の小学校で行われていた「木育授業」の中で子どもたちが作った作品が、3月2日から6日まで吉野町中央公民館で展示されました。

平成29年度から始まった木育授業は、子どもたちが吉野材にふれ、木の特徴や歴史などを学び、木と自分たちの生活のつながりについて考え、ふるさとへの愛着心を持つことを目的としています。

授業では、各学年に合わせた図工科の知識や技能・思考などのねらいの習得を目指し、毎年継続することで、ステップアップできるように進められました。また制作にあたって吉野材と向き合い、発想し、創造していく過程は子どもたちにとって、普通の授業ではなかなか得ることが難しい「ものづくりの力」を養うことに繋がったのではないのでしょうか。



吉野の木と和紙を使ったあかり作り体験(吉野杉の家)

では木工教室や、木工作品の展示、原木市場や箸工場、製材所などに立ち寄って木の魅力を専門家たちに解説してもらった「貯木まちあるき」などが行われ、多数の来場者で賑わいました。

また、今年1月からは吉野町産業振興課木のまち推進室が、役場から旧吉野木材協同組合連合会事務所(吉野小学校向かい)に移転し、「Re:吉野と暮らす会」をはじめ、町民や事業者との連携をより強化しながら、木のまち吉野の木材関連産業の活性化を推し進めています。

Re:吉野と暮らす会ホームページ  
(URL)<http://yoshinochoboku.com>



TOWN OF WOOD

木のまち よしの

## 木育授業作品展

吉野小学校・吉野北小学校



美しい木目の吉野材が使われた作品  
赤身と白太、使用する部位により印象がガラリと変わります。